

2007年5月吉日

## MMS 研究会遺伝毒性試験法ワークショップ 「再募集」のご案内

MMS 研究会  
会長 浅野哲秀

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年夏に募集いたしました遺伝毒性試験ワークショップは10名募集のところを受付直後に30名を超える応募を頂きました。定員を大きく超える応募のため、募集を一旦停止し、皆様方には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

当初の応募者に対するワークショップは本年3月24日をもって全て終了致しました。関係各位のご協力に深く感謝申し上げます。

さて、募集締切り後も引き続き問い合わせが多数ありましたので、染色体異常試験法(初級)ワークショップについて再募集を行うことに致しました。前回に引き続き遺伝毒性試験をこれから始める人、また始めて間もない初級研究者を対象に遺伝毒性試験、特に哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験法の実際を、細胞遺伝学の基礎知識、染色体標本の作製・観察および評価法にいたるまでを懇切丁寧に指導し、実践的な研究者を養成する一助になることを目的として開催いたします。

日頃、初歩的な技術問題で悩んでいる遺伝毒性試験担当者の皆さんには是非参加して頂きたく、ご案内申し上げます。同一機関から複数の参加も歓迎します。また、経験のある方で内容が初歩的であることを承知の上であれば参加されることを拒みません。

尚、今回の募集では定員10名といたします。定員になり次第募集を終了させて頂きます。もし定員に満たない場合には、中止もありえることをご承知おきください。

ワークショップ修了者には修了証を発行いたします。

敬具

記

### 第4回開催日程

日時:2007年7月20日～21日(金、土の2日間)  
場所:福田工業団地協同組合研修センター  
静岡県磐田市塩新田浜野 494-1 Tel:0538-58-1722  
定員:10名  
**募集締切日:2007年6月29日(金)**

以上

# MMS 研究会遺伝毒性試験法ワークショップ

## 染色体異常試験法初級コース

ワークショップ日程:2007年7月20日(金)～7月21日(土)(2日間)

主催: MMS研究会

講師: 祖父尼 俊雄(元国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部部长)

プログラム:

7月20日 9:30～18:00(昼食1時間を含む)

講義: 化学物質による染色体異常生成メカニズム、異常分類と判定の基礎

実技: 染色体標本作製の基本、顕微鏡下での染色体観察技術の基本等

7月21日 9:30～17:00(昼食1時間を含む)

講義: 基本的な試験方法、異常の記録と結果の判定等

実技: 顕微鏡下での染色体異常の判定の仕方、ギャップと切断の区別等

(内容は変更される場合があります)

協力: 財団法人 食品農医薬品安全性評価センター(安評センター)  
(静岡県磐田市塩新田 582-2)

会場: <sup>ふくで</sup> 福田工業団地協同組合研修センター(安評センターのすぐ近く)  
(静岡県磐田市塩新田 494-1 Tel/0538-58-1722)

交通案内: 東海道新幹線掛川駅又は浜松駅より東海道本線に乗り換え、磐田駅で下車、  
タクシー約10分(磐田駅からは南口からタクシーをご利用ください)

宿泊: 参加者には7月19日(講習会前日)および20日の2日間、研修センターに宿泊して頂きます。  
会場に宿泊施設が完備していますので、集中して講習に専念できます。

定員: 10名 (5名ずつ2班に別れ、交互に講義と実技を行います)

受講料: 50,000円/人

宿泊費: 12,000円(宿泊費(2日)および1日目の朝食から2日目の昼食までの食事代込み)

テキスト: 実費 3,000円(講義資料:ワークショップに使用する祖父尼先生作成テキスト)

参考テキスト: 祖父尼 俊雄著「染色体異常試験」サイエンティスト社(2005年)

申込先: MMS研究会染色体異常試験ワークショップ事務局

e-mail:ch-info@mms-j.org

(サイエンティスト社ではありませんので、ご注意ください)

申込方法: MMSワークショップ事務局へ電子メールで申し込んで下さい。

電子メールには以下の項目をご記入ください:

MMS研究会遺伝毒性試験法ワークショップ染色体異常試験法初級コースに参加希望。

氏名、所属、所属先住所、電話、e-mail、経験年数、講師への質問事項等(もしあれば)。

染色体異常の判定等で困っているような場合には、当日その標本又は写真をご持参下さい。

以上